WEP 俳句通信

ウエップ俳句通信 VOL.66

特別作品25句●小島千架子「若潮」

特集Ⅰ●〈新結社の時代〉

山口昭男（「秋草」主宰）　上野一孝（「梓」代表）
武藤紀子（「円座」主宰）　藤田直子（「秋麗」主宰）
武田禪次（「銀漢」編集長）

特集Ⅱ●小島千架子を読む

■座談会・第七句集『あゆむ』を読む
参加者・雨宮抱星・奈良文夫・吉岡桂六・
（小島千架子）
■書評・エッセイ集『梧桐に倚る』を読む
「いつもいつも……未来へ」
中田尚子

【特別寄稿30句】
鈴木節子「冬澄む」
【新作30句】
松岡隆子「四囲枯れて」
【実力作家競詠20句】
深谷雄大「日月は地に堕ちず」
伊達甲女「青春を生きよう」
星野恒彦「こころの燠」
【気鋭作家新作20句】
平栗瑞枝「座の風」

作品●藤本安騎生・青山　丈・友岡子郷・
金久美智子・鈴木貞雄・松尾隆信・
林十九楼・中村石秋・大畠水一路・
仁尾正文・諸角せつ子・佐野　聰　ほか

●好評エッセイ●
視野遠近「大景小景(7)」廣瀬直人
伝統の探求「題の歴史」筑紫磐井
戦後の俳人たち「橋本多佳子」松岡ひでたか
虚子の肖像「格調の話」坊城俊樹
時空の座・拾遺「哀しきヤマトタケル」西池冬扇
飯田龍太は森である
「『雲母』誌友から見た龍太」清水青風
誓子の素粒子「巌頭」品川鈴子
思い出の森澄雄――雅帖の旅　伊豆半島篇

冬の深大寺
小島千架子

季節の中で㊺

東京都善福寺緑地公園

書斎にて

村上喜代子

若潮

小島千架子

残る日の沖はぬらりと舟かくす

日のぬくし橙取りのかくれ道

河口へと首すぢあをく冬鵜かな

渉漁の鵜にじりじりと冬波が

岩にをり凍て鵜は波にさらはるる

沖の舟かぞふ若潮迎へけり

特集Ⅰ
〈新結社の時代〉

ここ近年に出立し、新鮮な動きをみせている中小の新結社がいくつか見受けられます。
そうした5つの結社について、結社運営の抱負、目指すべき俳句などについて述べていただき、さらに、結社の現在の水準を示す主宰または代表、会員・同人の作品をいくつか示していただきました。